

### ～博多屋・本店～



開演5分前のブザーが鳴った…地元・歌手の皆さんを始め、民舞や舞踊の数々で、程良い熱気を蓄えた大ホールの第2部開始の1ベル。5日前に同じシチュエーションで、筑後市若菜の「サザンクロス筑後」を終えたばかりとはいえ、緞帳前で最後

のチエックを済ませ、スタンバイする時のこの緊張と興奮、胸の高鳴りは今でも変わらないのです。

緞帳越しに広がるのは3階席からなる1800人収容の会場、ここは長崎・佐世保市にある「アルカスSASEBO」なのです。

1分前の2ベルに続いて、



スツと引いたざわめきの中、「みんなで楽しい、みんなが楽しい、これこそがニッポンの演歌！」昨年4月に『雨のれん』でデビューした演歌版48(フオーティーエイト)：今日ここ佐世保にやってきました(博多屋・本店)の皆さんです。ニューシングルのカップリング曲『夢ぼたん』からどうぞ…」。

何度聞いても、とても嬉しいお客様からの拍手の拡がりに乗って、イントロが流れるのです。

2コーラスを熱唱して全員があいさつ、デビュー曲『雨のれん』のあとはメンバー紹介で一人ずつそれぞれが自分の自己紹介を一言メッセージにしてあいさつするとドツと笑いが拡がる…そして、拍手が湧くと「ガンバレー」と檄が飛び、エンディングでは『博多川恋歌』を披露して大盛り上がり。

本日のメインゲスト・神野美伽さんのステージでは、そ



の美伽さんと、お客様との一体感というか空気の流れを勉強できて感謝なのです。

終演後、玄関ホールでの握手会、CD販売では「良かったよ！ 覚えたいから一枚ください」。

回を増すごとに目に見えて充実して来たこともまた、感謝なのです。

そしてなにより…(博多屋・本店)が、こうして残す布石からいよいよ…「日本全国・唄仲間プロジェクト」も芽吹き、動き始めるのです。